



2020年12月期 決算説明会

(2021年2月22日)

千代田インテグレ株式会社

(東証1部：6915)

2020年12月期 連結業績

	2019年	2020年	増減額	増減率
単位: 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	38,358	37,544	△ 814	△2.1%
売上総利益	8,125	7,447	△ 678	△8.3%
	21.2%	19.8%		
営業利益	1,921	1,799	△ 122	△6.3%
	5.0%	4.8%		
経常利益	2,172	1,808	△ 364	△16.7%
	5.7%	4.8%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,058	882	△ 1,176	△57.2%
	5.4%	2.3%		
為替レート /US\$	109.03円	106.76円		

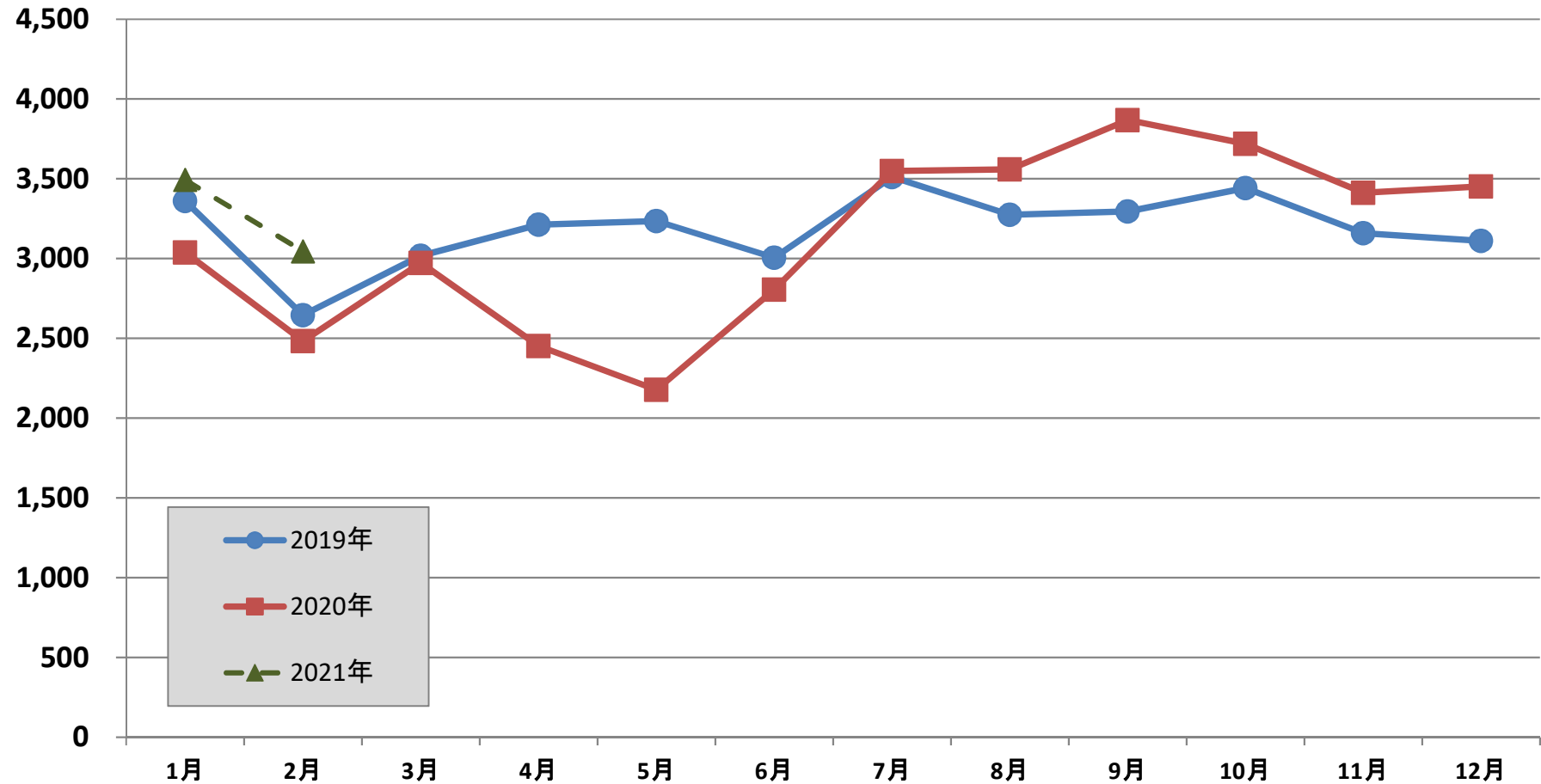
新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した当初以降は見通しが混沌としましたが、地域ごと・業界ごとに段階的に復調してまいりました。

2020年12月期 連結業績のポイント

<p>売上高</p>	<p>前期比8.1億円減収</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓為替の影響額 △6.6億円 ✓業種別純増額 △1.5億円 <p>(OA機器△26.1億円、AV機器+32.7億円、自動車△4.6億円、通信機器△9.1億円、電子デバイス△0.9億円 など)</p>
<p>営業利益</p>	<p>前期比1.2億円減益</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓為替の影響額 △1.0億円 ✓売上総利益 △5.2億円 (21.2%→19.8%) ✓販管費の削減により +5.0億円
<p>親会社株主に 帰属する 当期純利益</p>	<p>前期比11.7億円減益</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓特別損益 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る助成金 +0.5億円 ・新型コロナウイルス感染症に伴う 政府要請による操業停止期間の固定費 △1.9億円 ・天津工場閉鎖費用 △2.2億円 ・インドネシア早期退職費用 △1.2億円 ✓法人税等の減少により +1.8億円

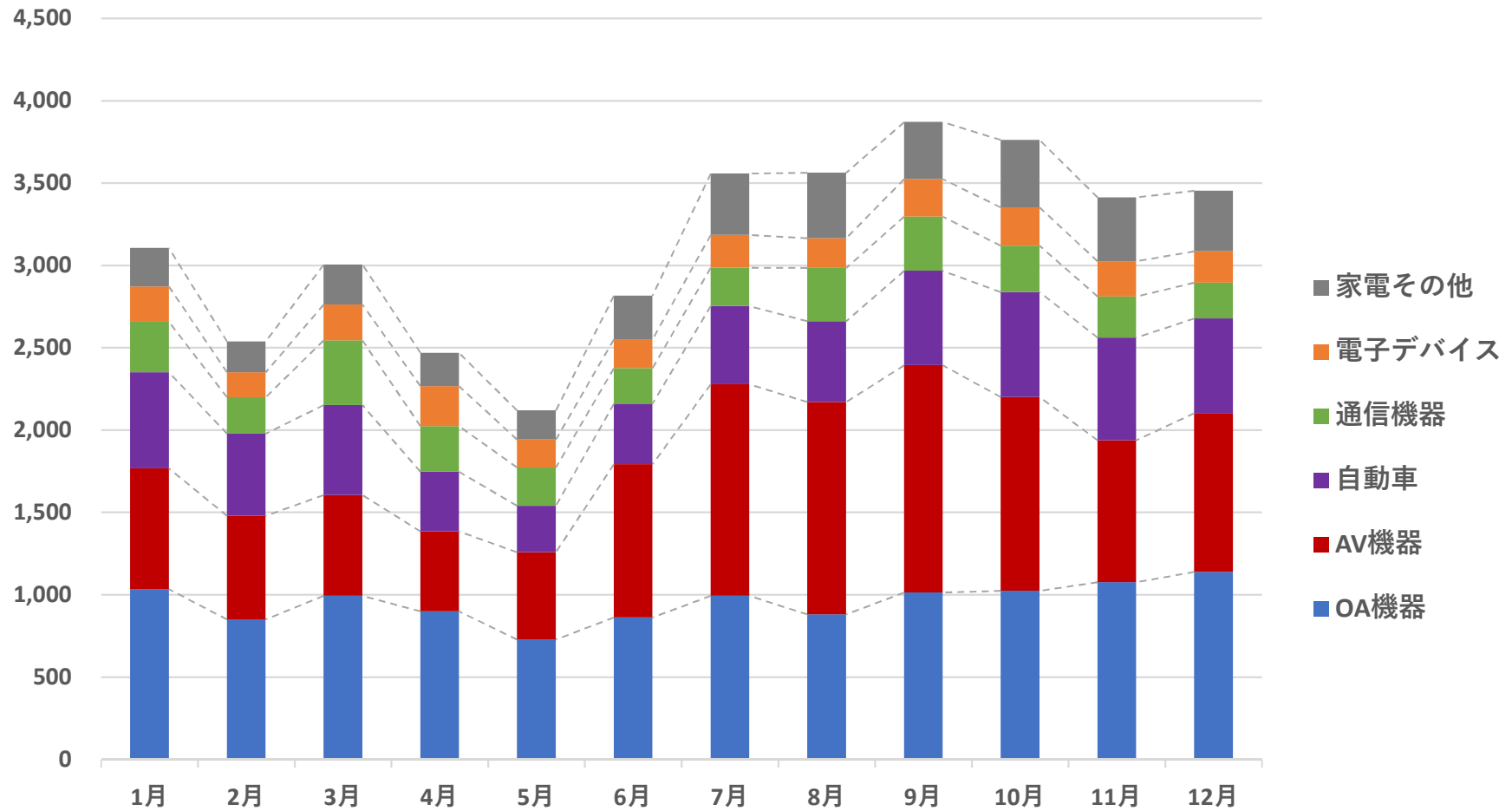
連結の月次売上高の傾向

(単位:百万円)



主要業種別の月次売上高推移（連結）

(単位: 百万円)



2020年12月期 単体業績

	2019年	2020年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	12,167	10,650	△ 1,517	△12.5%
売上総利益	2,577	2,049	△ 528	△20.5%
	21.2%	19.2%		
営業利益	△235	△546	△311	-
	-	-		
経常利益	2,189	2,284	95	4.3%
	18.0%	21.4%		

セグメント別業績（日本）

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	9,692	8,471	△1,221	△12.6%
セグメント間の 内部売上高	3,350	2,854	△496	△14.8%
合計	13,043	11,325	△1,718	△13.2%
営業利益	△ 208	△ 494	△286	—
営業利益率	—	—		

※日本地域には国内子会社 1 社が含まれています

経済活動が徐々に回復したものの、
主要分野が低調に推移しました。

セグメント別業績（東南アジア）

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	14,328	13,511	△ 817	△ 5.7%
セグメント間の 内部売上高	121	175	54	44.6%
合計	14,449	13,686	△ 763	△ 5.3%
営業利益	919	773	△ 146	△ 15.9%
営業利益率	6.4%	5.7%		

経済活動制限の影響が続き、
AV機器向けを除く主要分野が低迷しました。

セグメント別業績（中国）

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	10,644	11,174	530	5.0%
セグメント間の 内部売上高	772	799	27	3.5%
合計	11,417	11,973	556	4.9%
営業利益	547	750	203	37.1%
営業利益率	5.1%	6.7%		

早期に回復基調となり、
AV機器・ゲーム機器向けが好調を維持しました。

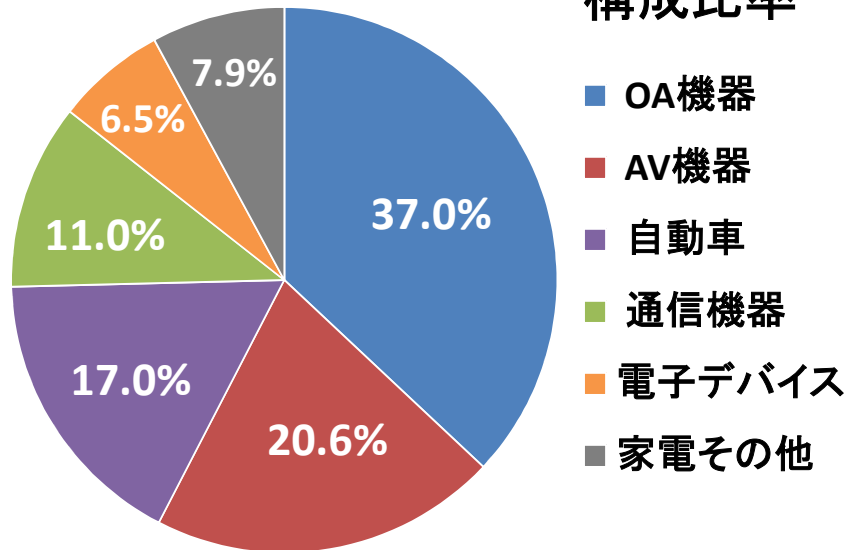
セグメント別業績（その他）

単位： 百万円	2019年	2020年	増減額	増減率
外部顧客売上高	3,693	4,386	693	18.8%
セグメント間の 内部売上高	47	49	2	4.3%
合計	3,740	4,436	696	18.6%
営業利益	△ 15	57	72	—
営業利益率	—	—		

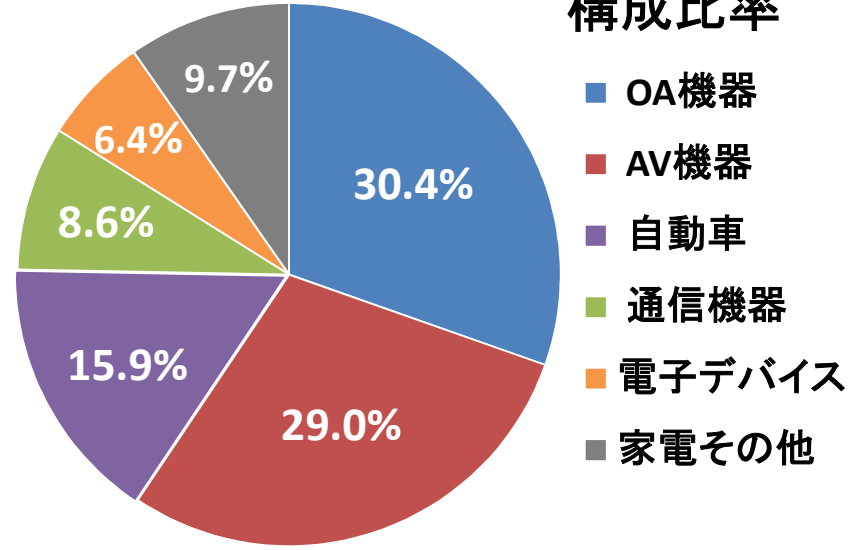
持ち直しの兆しが見え始める中、
米国でのAV機器向けが牽引しました。

売上高に占める主要業種の構成比（連結）

2019年12月期

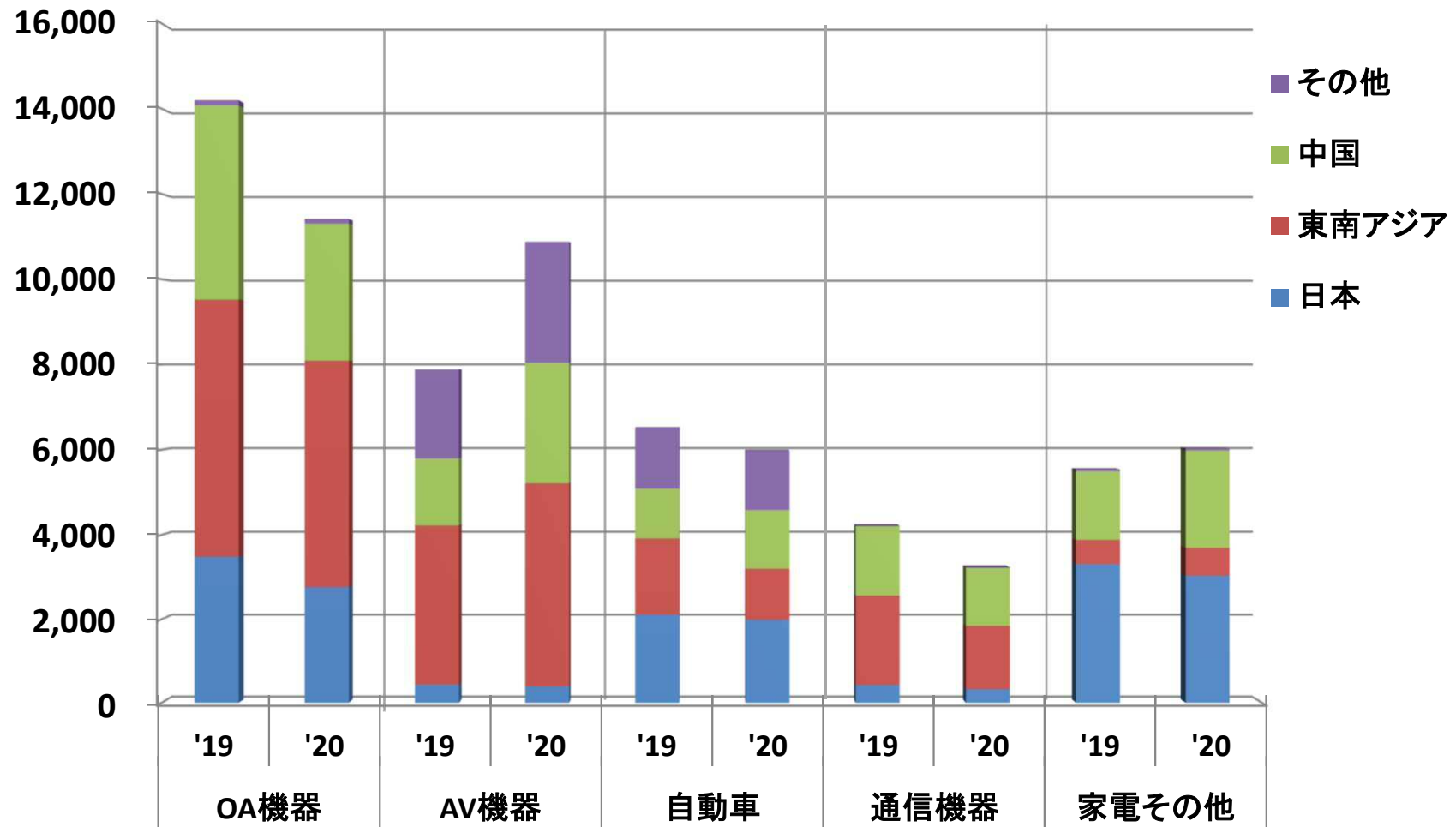


2020年12月期



業種別売上高の比較（連結）

（単位：百万円）



設備投資と減価償却費

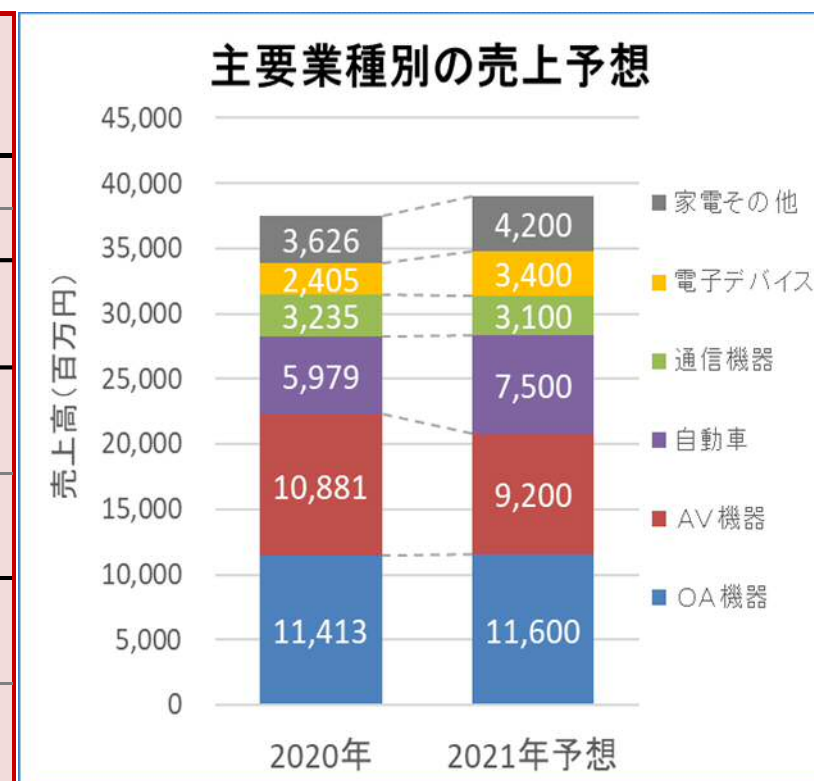
単位：百万円		2019年 通期実績	2020年 通期実績
設備投資	日本	1,455	358
	海外	977	643
	合計	2,433	1,002
減価償却費		1,164	1,196

2020年の主な設備投資

- ・機 械 設 備 :560百万円
- ・土 地 建 物 :375百万円

2021年12月期 連結業績見通し

	2019年	2020年	2021年
単位: 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)	予想 (構成比)
売上高	38,358	37,544	39,000
営業利益	1,921	1,799	2,000
	5.0%	4.8%	5.1%
経常利益	2,172	1,808	2,000
	5.7%	4.8%	5.1%
親会社株主に 帰属する 純利益	2,058	882	1,400
	5.4%	2.3%	3.6%
為替レート /US\$	109.03円	106.76円	105.00円



(単位:百万円)

2021年度 設備投資見込み	日本	900
	海外	800
	合計	1,700
減価償却費見込み		1,200

事業領域の拡大に向けた進行中の活動

- ◆バッテリーメーカーへの拡販
- ◆自動車向け（Tier1・2）からの受注
- ◆ヘルスケア（健康・医療）分野への拡販（コロナ関連含む）

顧客

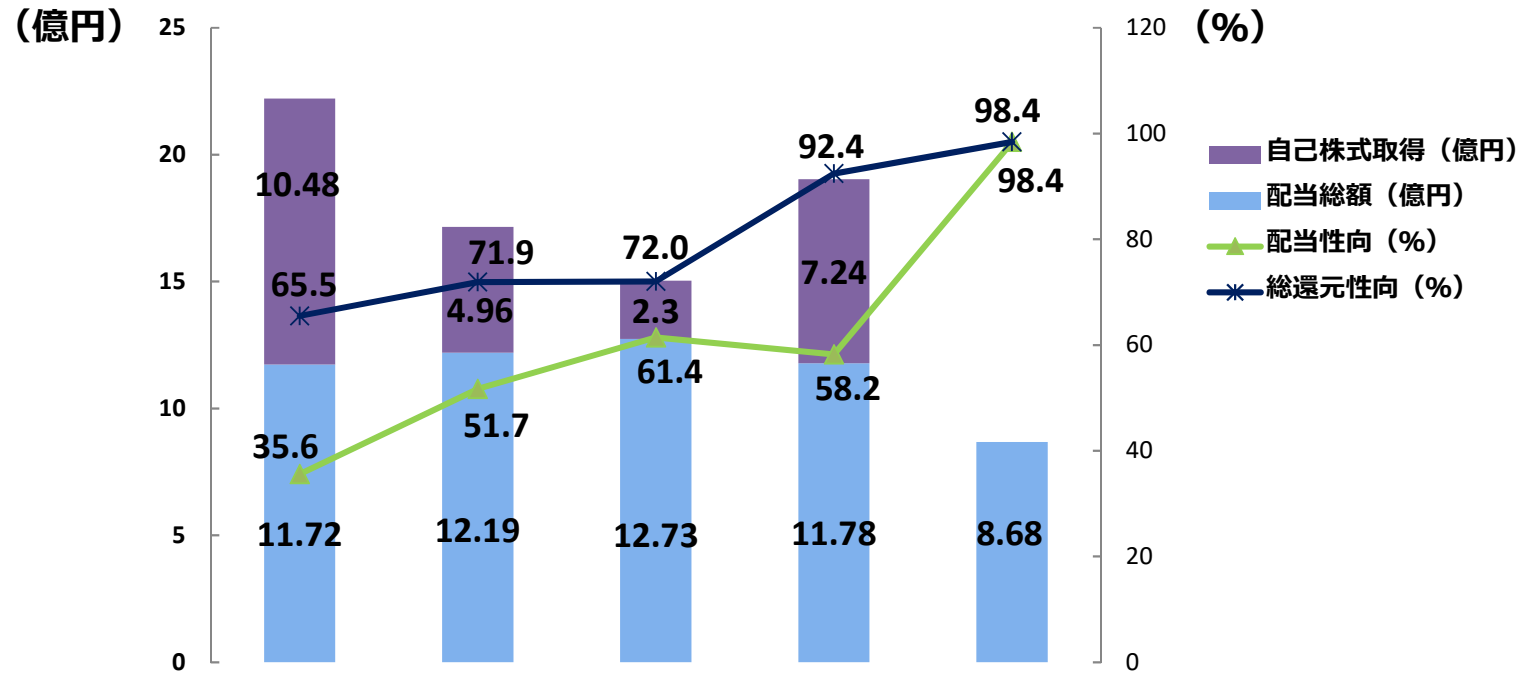
商品

地域

- ◆LCPフィルムの上市および販売活動開始
- ◆EVバッテリー向け部材の案件獲得
- ◆自動運転支援関連部品の受注
- ◆新型コロナウイルス検査キット
梱包資材の販売（中国）

- ◆日本：豊橋工場再稼働（自動車向け拡販）
- ◆東南アジア・中国：機能移転と拠点の再構築
- ◆米国：自動車向けの物流機能の強化

株主還元の様況



	'16.12月期	'17.12月期	'18.12月期	'19.12月期	'20.12月期	'21.12月期 (予想)
期末配当 (円)	90	95	100	95	70	70
配当総額 (億円)	11.72	12.19	12.73	11.78	8.68	-
配当性向 (%)	35.6	51.7	61.4	58.2	98.4	-
自己株式取得 (億円)	10.48	4.96	2.3	7.24	0	-
総還元性向 (%)	65.5	71.9	72.0	92.4	98.4	-

コーポレートガバナンスについて

取締役会（2021年3月30日より）

- ・ 独立社外取締役 2名→3名（内1名外国人）
- ・ 取締役の員数 10名→7名

執行役員制度の導入（2021年3月30日より）

- ・ 取締役会の監督機能強化
- ・ 執行権限、執行責任の明確化
- ・ 業務執行機能の強化
- ・ 意思決定のスピードアップ
- ・ 次世代経営層の人材育成

本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。